兵庫県政レポート

兵庫県議会議員

カド　タカシ
門　隆志

Vol.15　平成29年2月号

◆兵庫県の成長戦略

2月17日より36日間の日程で兵庫県議会の2月定例会が始まりました。今年の夏には知事選挙があり、井戸知事は 5 期目に立候補するのかについてまだ表明していませんが（※2 月 19 日現在）、知事におかれては 4 期 16 年目最後となる節目の議会です。

また、この定例会は平成 29 年度の予算審議を行う大切な議会です。維新の会としても昨年 9 月に知事に対し重要政策提言を行い、11 月には予算の申し入れをしてきました。兵庫の維新が掲げる県政への注文に対しどこまで答えて頂いたのかは予算書に反映されますが、なかなか残念な感じです。

そもそも兵庫県の成長戦略が見えてきません。限りある予算について選択と集中をして頂きたいと重要政策提言の中でも書かせて頂きました。総花的は予算では無く、都市基盤の再整備が必要な所へしっかりとした予算を付ける事。子育て世代への支援を行う事。人口や交流人口と比較しオーバースペックな投資が行われている箇所が見受けられる事。課題は多くありますが、優先順位が違うのでは無いかという事。どのような兵庫にしていくのか。予算特別委員会や本会議での質疑にて明らかにしていきます。

◆人口施策

私達は社会主義体制の国家で生きている訳のではありませんので、他の道府県と足並みを揃えるということは重要ではなく、施策を総動員し都市間競争に勝つことが重要で、県内 GDP を右肩上がりで上げ経済成長していくことが、県民の福祉の向上に繋がると思います。そのような事から、県政への提言も行っています。そして人口が減少するこの日本においても県内人口を極力減らさない施策が必要であり、県政の最重要課題として認識する必要があるのではないでしょうか。

その観点からすると今定例会に対しての知事の所信表明にはく我々の立場と相い入れ無い立場で書かれいます。人口が減っても活力ある社会を目指す。人口は減っても交流人口を増やせばなんとかなる。その所信表明にはここ数年の人口減少傾向を肯定するような内容です。大丈夫なのでしょうか。

※兵庫県は人口の転出超過において、一昨年は北海道に次いでワースト２、昨年はワースト２に熊本が入りワースト３。
ここ数年は４７都道府県で選ばれていないランキングの上位にきています。